

児童虐待防止研修

SBOs	科目及び講義課題	講師名	時間数		
			集合	オンライン	遠隔
1. 国の児童虐待防止政策の動向について、その方向性、公衆衛生の役割を理解し説明できる。	1 児童虐待の現状と対策	こども家庭庁	A 1		
	2 児童虐待と公衆衛生看護活動	外部講師	A 1		
	3 児童虐待と法的理解	外部講師	A 1.5		A 1
2. 児童虐待による子どもへの影響、児童虐待に至った家族の特徴や背景、関連要因から、必要なアプローチを明確化できる。	1 虐待による子どもへの影響	外部講師	A 1.5		A 0.5
	2 子ども虐待に至る親の精神病理と精神保健的アプローチ	外部講師	A 1.5		A 0.5
	3 医学的診断の活用による児童虐待の理解	外部講師	A 1.5		
3. 多職種連携を意識し、公衆衛生分野に期待される児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応、再発防止のための支援のあり方を説明できる。	1 地域を基盤とする虐待防止対策の推進	院内講師	A 2		
	2 児童虐待防止における多様な機関・専門職の連携	外部講師	A 1		
	3 児童相談所の保健師・児童福祉司の役割	外部講師	B 1.5		
	4 (グループワーク) 保健師・児童福祉司・児童心理司による多職種・多機関連携	主任・副主任	A 1.5		
	5 妊産婦との面談・コミュニケーション技法	外部講師	B 3		
		小計	20.5		2
時間数	集合	A 12.5 B 8.0 C D E		合計	22.5
	オンライン	A B C D E			
	遠隔	A 2.0 B C D E			

Aは講義、Bは演習、Cは実験、Dは見学、Eはその他、修了時評価等（オリエンテーション、開講式・閉講式は除く。）

遠隔は、遠隔システムを利用し、予習・復習を行うもの（事前課題は除く。）